学校番号	３０６

令和３年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の美術３」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自分自身の作品が人や社会にメッセージとして伝わることを意識した「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、と「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などに着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。また、「鑑賞」で感じ取ったことや考えたことを共有し、見方や表現をさらに広げ、深めていきましょう。

２ 学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化を尊重し関心を、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション・デッザン	【絵画】 ・オリエンテーション アンケートを通じて学習の進度を確認 1年間の学習イメージを持つ ・用具の確認 ・鉛筆デッサン「りんごとビール瓶とレンガ」 ・鉛筆を使いこなす	○	○	○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、この１年間の学習計画を立て意欲を高める。 ｂ：対象物を客観的にとらえ、視線の位置と姿勢を身につける。作品として構図や空間を意識する。 ｃ:鉛筆による表現（形、明暗、質感の表現）を追求する d:先輩の作品を鑑賞し技法を学ぶ。 自分の作品を客観的に評価する。	アンケート 学習活動の様子 制作の様子 作品 学習の記録 作品の振り返り
	デザインボード制作	【デザイン】【鑑賞】 ・先輩の作品鑑賞 ・テーマを決めてポスター制作する ・自己の内面や取り巻く状況などからテーマを決める ・テーマを基に資料を集め構想を練る ・レタリング アイデアスケッチ ・構想を基にアクリルガッシュ使って自分の表現意図に合う表現方法を工夫する ・主題を追及し、表現を深める ・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する	○	○	○	○	a:テーマを基に人に何を伝えるのか、どう伝わるのかに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: 自己の内面や取り巻く状況などから感性や想像力を働かせて、自分の伝えたいメッセージを伝えるポスターのテーマを決定し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じてアクリルガッシュ絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	アイデアスケッチ 下絵（画面構成・配色計画・レタリング） 制作の様子 学習の記録 鑑賞活動の様子 作品 振り返りプリント

	紙粘土によるお菓子作り	【立体】【鑑賞】 ・身の回りを観察し機能だけではない美しさを発見する ・身近にあったらいいなと思う楽しいマグネットのアイデアを出す ・紙粘土の特性を知る ・制作 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a:美術には生活を心豊かにする働きがあることを意識し、機能や用途などを考えて表現することに関心を持つ。 b:目的、機能、美しさを意識し、粘土の特性を理解考えて何をどのように作るのか手順や構想を練っている。 c:表現方法を工夫して、生活の一部として楽しめる作品作りを心がけている。 d:作者の表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 作品 相互鑑賞
2学期	レザークラフト	【デザイン】 ・素材と用具の理解 ・練習 ・卒業後も使うものとして世界に一つしかないデザインに挑戦する。 ・制作 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a:刻印という初めての表現方法に意欲的に取り組もうとしている。 b:革の特性を生かし、形体、配色などを工夫して表現の構想を練っている。 c:用具の特性を生かしたデザインを行い、工具を工夫して制作している。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り作品について理解を深めている。	ワークシート 練習 デザイン 制作の様子 作品
	選択制作	【絵画・デザイン】 ・油絵、デザインパネル、木版がの中から自分のやりたいものを選択して制作する ・制作の計画、手順 （描画材料)を考える ・下絵(構成、配色計画) ・制作	○	○	○		a:卒業制作として意欲的に自分の制作分野を決定し、制作計画を立てる。 自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:自信のテーマを決め感性や想像力を働かせて、自己の感じ取ったことや考えたことから、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:制作の特性に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。	計画書 下絵 制作の様子 学習の記録 作品
	合評会	【鑑賞】 ・作品展示 ・相互鑑賞 ・鑑賞シートをつかった交流				○	d:他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	鑑賞シート

	メッセージカード	【デザイン】 メッセージカード ・卒業を前に贈りたい人へのメッセージを考える ・ふさわしい表現を考えて描画材料を考える ・制作	○	○	○	○	a:お世話になった人へ感謝をこめてメッセージカードを作る。受け取る人を思い描いて制作する。 b:思いを表す色や形、飛び出す技法などふさわしい表現を考える。 c:描画材料の特性を理解し、効果的な表現方法や技法を工夫して表現している。 d:作者の意図や想いを感じ取り、作品について理解を深めている。	制作の様子 アイデアスケッチ 作品
3学期	マイバッグデザイン	【デザイン】ステンシル版画 ・作品を持ち帰るバッグにデザインする ・自分を表現するロゴと装飾をかばんの機能やバランスを考えて練る ・構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する ・主題を追及し、表現を深める ・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する	○	○	○	○	a:テーマを基に自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:テーマを基に感性や想像力を働かせて、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	アイデアスケッチ 下絵 制作の様子 作品 学習の記録
	卒業制作展	【鑑賞】 ・展示準備、額付けビニール貼り ・作品説明やキャプション等を作り展示 ・展示後の作品を全員で鑑賞し鑑賞レポート記入	○			○	a:自分の作品や友達の作品のよさ、努力工夫を感じ取ろうとしている。展示作業に積極的に取り組んでいる。 d:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ちそれを表現する。	活動の様子 鑑賞レポート 鑑賞の様子発言 学習の記録

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
　　c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。